

保護者様からの放課後等デイサービス・児童発達支援事業所
評価の集計結果（公表）

令和7年3月31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21		1	1	活発な子ども達が活動するには少し狭い。	利用人数が多い場合には、プログラムを工夫し、室内が密にならないようにしている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20				3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				1	ごまめに手洗いの時間を組み込み、感染症にかかることが少なく過ごせている。 室内に靴の汚れが持ち込まれてしまうので、外靴と上靴は違う場所に置いて欲しい。	施設の内外は毎朝掃除機をかけ、靴箱の中も毎朝拭き掃除をしており、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				今何が必要かを考え、子どもに合った支援をしている。		
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		1		毎月の活動内容を配布し、Instagramで活動を公開しています。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	23					現状を知り、必要な支援・課題を考え、分かりやすく作成されている。	
	8 支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1				必要な支援を細かく具体的に考えられている。 家で必要な支援も考えてもらい助かる。	
	9 放課後等デイサービス（児童発達）支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					計画に沿ってすぐに支援を行うことで、子どもができることが増えた。	
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		2		様々な活動があり、子どもも楽しく参加している。	
	11 放課後児童クラブ・児童館・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	2	6		保育園にも通っているので、事業所で交流が無くても大丈夫。 月1～2回児童館に連れて行ってもらっている。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23						
	13 「放課後等デイサービス（児童発達支援）計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					定期的な面談で説明されている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	2	4		参加したい気持ちが無いのでなくてよい。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1				連絡帳や送迎時にその日の様子を教えてもらっている。 写真など様子の分かりやすいものが多くあるといい。	送迎の際に、毎回保護者様とお話をする時間をとっています。また、Instagramにて活動の様子を紹介しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22			1		分からないことも助言をもらい、親の精神的な支援をしてもらっている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	8	5		コロナも落ち着いてきたので、情報交換のため保護者同士の交流がしたい。 してほしいと思っていない。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22				1	相談したことはすぐに対応されている。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3		5	活動内容の計画表、連絡帳から把握している。 インスタグラムで活動の様子を見ることができると。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		5	年2回の訓練以外に、防犯意識を高めたり、緊急時の対応などを考える活動を組み込んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		5	年2回の避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			2	今まで事故等が起こったことが無いため分からない。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22			1	意図的な接し方のおかげで先生を信頼している。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2		1	いつも楽しそうに安心して通わせられる。 学びの環境なので様々な感情を抱え行き渡ることもあるが、暖かく見守ってほしい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				子守りではなくきちんと支援をしている。 通所前と比べてすごく成長した。子どもの意欲が向上した。 親の想いに寄り添ってくれる。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。